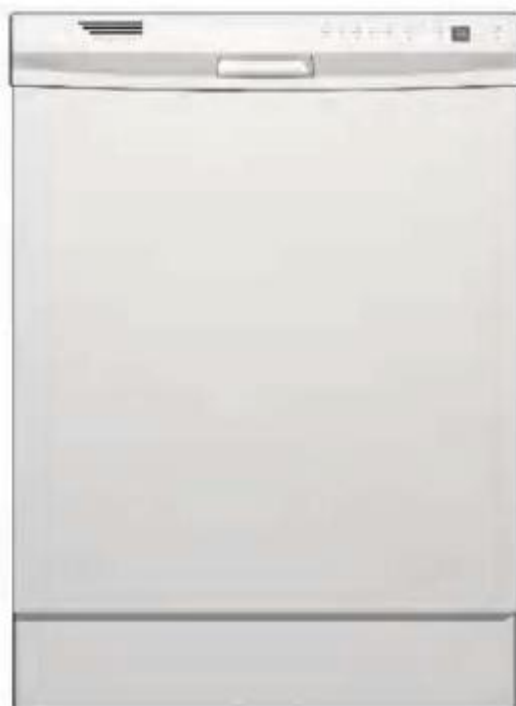




ケンモア 食器洗い機 KDF1233

据付手順書



目次

| | | | |
|---------------------|---|-------------------------|---|
| ● 一次設備の準備 | 2 | 5. キャビネット開口部の確認 | 4 |
| ● 付属部品 | 2 | 6. 本体の設置 | 5 |
| ● 現場調達部品 | 2 | 7. 給湯配管の接続 | 6 |
| ● 必要工具 | 2 | 8. 排水ホースの接続 | 7 |
| 1. 作業の前に | 3 | 9. キックパネルの取り付け | 7 |
| 2. 配線・配管用の貫通孔 | 3 | 10. 電源コードとアース線の接続 | 7 |
| 3. 本体の設置準備 | 3 | 11. 試運転 | 7 |
| 4. 配線・配管接続の準備 | 4 | | |

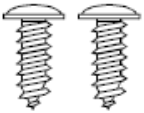


日本ゼネラル・アプライアンス株式会社

● 一次設備の準備

別刷りの準備配線・配管設備図に準じて、一次設備を準備してください。

● 付属部品

本製品には以下の付属品が同梱されています。据付前に正しい数量で同梱されているかご確認ください。

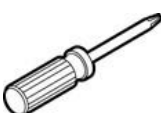








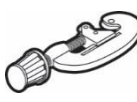
| | |
|---|--|
| 固定金具用ネジ（白） 予備ネジ（無地） 各2本 |  |
| 給湯フィッティング （フレキパイプ接続用） 3/8" NPT × 1/2" G （銅パイプ接続用） 3/8" NPT × 3/8" F 3/8" フレアナット 各1個 |  |
| ネジ式ホースクランプ |  |

● 現場調達資材

新規設置の場合、下記の部材が必要となります。また、機器入替の場合であっても必要に応じて給湯配管を更新してください。

| | |
|--|---|
| 給湯配管 1/2" フレキパイプ （パッキン付き）又は 3/8" 銅パイプ |  |
| 給湯バルブ用継手 1/2" × 1/2" 又は 3/8" × 1/2" （フレア式又はリング式） |  |
| シールテープ |  |

● 必要工具

| | |
|--------------------------|---|
| プラスドライバー |  |
| 5/16" および 1/4" ボックスドライバー |  |
| プライヤー |  |
| モンキーレンチ |  |
| 5/8" スパナ |  |
| カッターナイフ |  |
| 水準器 |  |
| メジャー |  |
| 電気ドリルおよび φ65 ホールソー |  |
| パイプカッターおよび フレアツール |  |

1. 作業の前に

1 電源を切ります

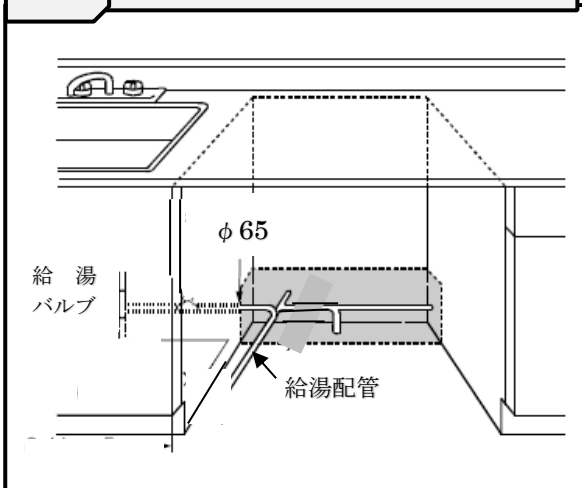
食器洗い機を設置する前に、コンセントの電源を切ってください。

2 水道の元栓を閉じます

食器洗い機への水道の元栓を閉じてください。

2. 配線・配管用の貫通孔

1 配線・配管用の貫通孔をあけます

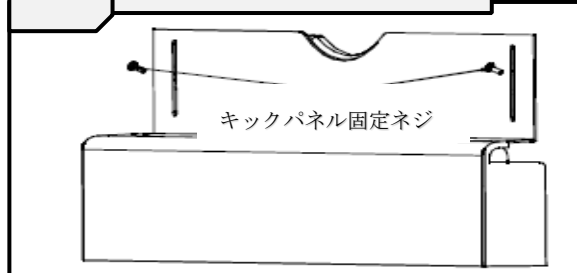


キャビネットの側面に配線・配管用の貫通孔をあけてください（φ65）。

重要：木製キャビネットの場合は紙やすり等で平らになるように処理してください。金属製キャビネットの場合はゴムブッシング等で貫通孔を保護してください。

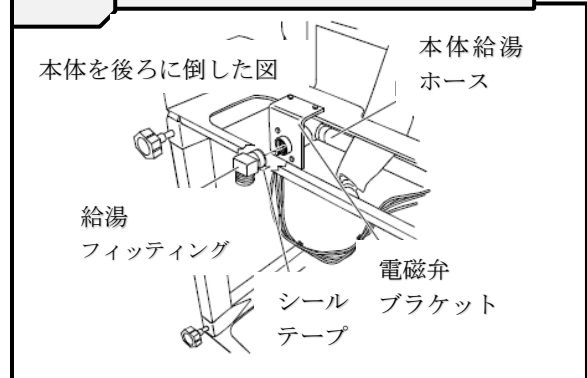
3. 本体の設置準備

1 キックパネルの取り外し



キックパネルを固定しているネジ左右2箇所を外してキックパネルを取り外してください。

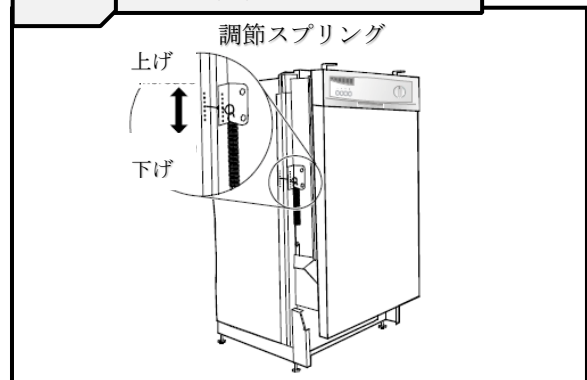
2 付属のエルボーを取付けます



付属の給湯フィッティングにシールテープを巻き電磁弁に取付けてください。

本体を後に倒す場合は周囲を養生してから、2名で本体の両側を支えてゆっくりと後方へ倒してください。戻す際も同様に2名で本体の両側を支えて戻してください。

3 ドアの開閉バランス確認



本体が倒れないように本体をpushした状態でドアの開閉確認を行ってください。ドアが急激に閉じたり、自重で開いたりする場合は、本体の両側にある調節スプリングの位置を変更して張力を調節してください。

注意：スプリングは左右とも同じ位置に設定してください。

4. 配線・配管接続の準備



給湯配管（フレキパイプ）を適切に端末処理して、1/2”（15A）給湯バルブに接続します。

3/8” 銅配管接続の場合

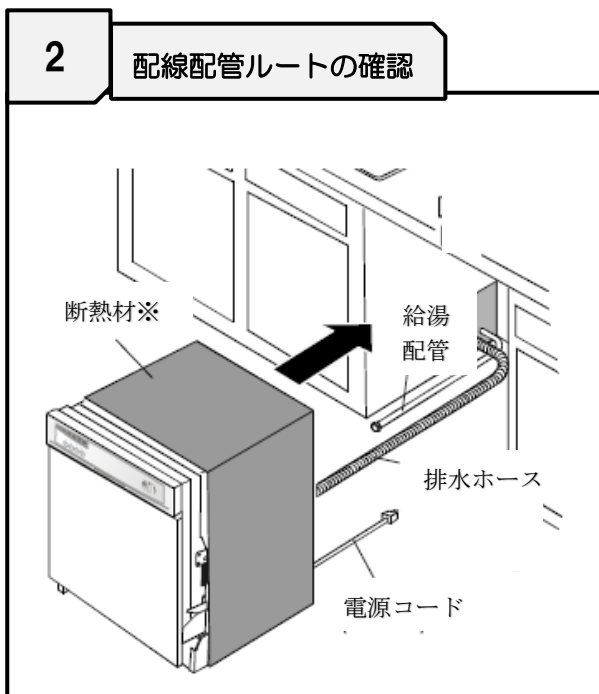
3/8” 銅配管接続には以下の継手が必要です。

1/2” x3/8” フレア式継手又は

1/2” x3/8” リング式継手

※両方法とも、継手及び専用工具は現場手配となります。

（3/8” 銅配管使用の場合は、折れやすいので優しく取り扱います。）



※断熱材は防音効果もありますので、必ず装着してください。

本体を設置場所へ近付けて配線・配管のルート上に障害物等が無いか確認してください。

給湯配管

1.給湯配管はキャビネットの貫通孔から取り出し食器洗い機本体の結び口までの長さを準備してください。

2.給湯配管の出口に受け皿等を置き、ゆっくりと給湯バルブの栓を開いて水漏れチェックおよび、不純物の除去を行ってください。

3.給湯配管は床に仮止めしてください。

排水ホース・電源コード

重要：機器動作中の振動を避けるために、本体フレームやモーター等に排水ホース・電源コードが触れないように設置してください。

排水ホースと電源コードを本体背面側から取り出し、排水ホース、電源コードは貫通孔へ通して仮止めしてください。

5. キャビネット開口部の確認

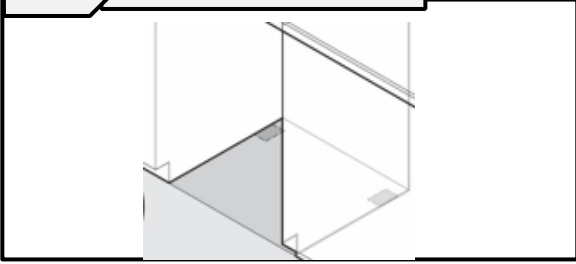


本製品には高さ調整用にレベル調整脚が備わっています。キャビネットの開口部の高さに合うようにレベル脚を調節してください。食器洗い機設置場所のキャビネット内床面からカウンター下までの高さを測定してください。必要に応じて前部、後部の調整脚を調節して本体の高さを合わせてください。

調節後はドアの開閉を行い、庫内の棚が前に飛び出したりしないことを確認してください。

2

スペーサーの設置 (設置床が低い場合)



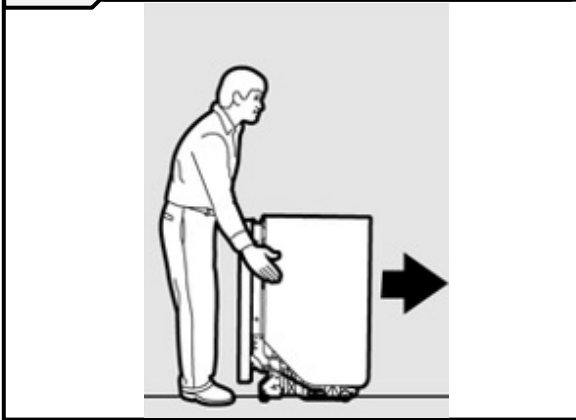
床のフローリングやタイル等が設置床まで施工されておらず、設置面が低くなっている場合は、適当な厚みのスペーサーを挿入してカウンター下が838~853 mmになるように設置してください。

注意：スペーサーは食器洗い機を設置する際に動かないように、床面にしっかりと固定してください。

6. 本体の設置

1

本体を設置場所にセットします



- 1.給湯配管・排水ホースが適切な位置で仮止めされているか確認してください。
- 2.本体ドアパネルの両サイドを持って設置場所にセットしてください。設置の最中に給湯配管・排水ホースを引っ張らないでください。

注意：フロントパネルや操作部は押さないでください。変形するおそれがあります。

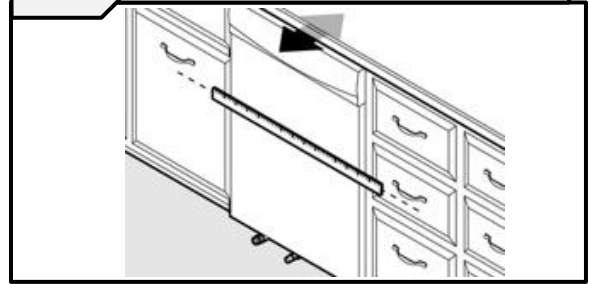
重要：本体のレベル調整脚を取り外すと、本体を動かす際に床面を傷つけるおそれがあります。

注意：本体をキャビネットに収める際にクリアランスが十分ない場合でも断熱材は取り除かないでください。この断熱材は防音効果も備わっています。

注意：キックパネルはまだ取付けないでください。

2

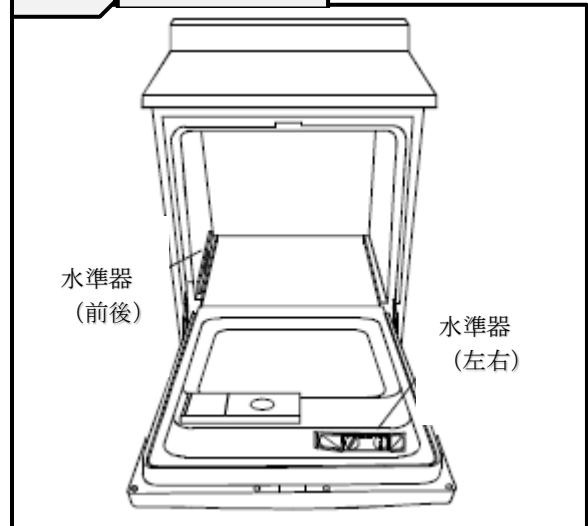
周囲のキャビネットと本体前面パネルの面合わせを行います



周囲のキャビネットと本体前面パネルの面を合わせてください。

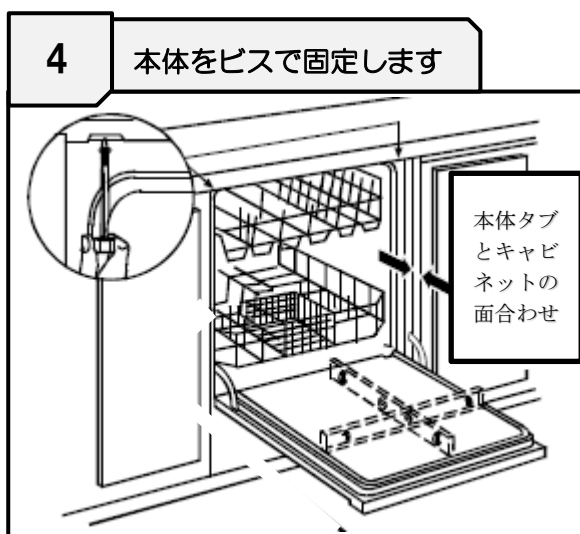
3

レベル確認



- 1.本体がキャビネット内、設置場所の中心に設置されていること、レベル脚がしっかりと床面に乗っていることを確認してください。

- 2.庫内の棚を取り外して庫内の前後、ドアを完全に開いた状態で左右の水平を確認してください。
- 3.棚を庫内に戻してドアをしっかりと閉じてください。
- 4.フロントパネルの垂直状態を確認してください。
- 5.必要に応じてレベル脚を動かして本体の傾きを修正してください。



- 1.ドアを開いて本体タブとキャビネットの面を合わせて本体両側のスペースも左右を均等にしてください。
- 2.同梱されている固定金具用のネジ2本を使って本体上部2箇所の固定金具をカウンタートップに固定してください。
庫内に木くずやネジ等が落ちた場合に備えて棚や内部を傷つけないようにタオル等で養生してください。
- 3.ドアを開閉して下記項目を確認してください。
ドアの開閉を行い本体が動かないこと
ドアの上部がネジや固定金具、カウンタートップと接触しないこと
本体の両側のスペースが均等であること

7. 給湯配管の接続

重要：機器動作中の振動を避けるために、本体フレームやモーター等に給湯配管が触れないように設置してください。

(1/2" フレキパイプ使用の場合)

フレキパイプを本体の電磁弁エルボーに接続します。

注意：袋ナットは強く締め過ぎないでください。パッキンが破損して水漏れを起こすおそれがあります。

(3/8" 銅配管使用の場合)

フレアナットを3/8" 銅配管に約25mm挿入してください。接続口に銅配管をできる限り奥に挿入してフレアナットをスライドさせて締めてください。

注意：フレアナットにはシールテープは使用しないでください。

水漏れの確認

給湯配管の接続後に給湯栓を開き配管、接続部から水漏れが無い事を確認してください。

8. 排水管の接続



排水ホースの仮止めを外し、食器洗い機専用の排水管立ち上げ(508mm以上)に排水ホースを114mm挿入します。

また、排水ホースが抜けないように、結束バンドで固定します。

ディスポーザーに排水ホースを接続する場合



ディスポーザーに排水ホースを接続する場合は、逆流防止のため必ず排水ホースの一部をシンクフランジより高く持ち上げてください。また、接続した排水ホースは同梱のクランプにて固定してください。

9. キックパネルの取り付け

3で取り外したキックパネルを取り付けます。

1. キックパネルを本体下部にセットして、固定用ネジを2か所に挿入します。
2. キックパネルは下端が床面に触れる位置にセットしてください。
3. 固定用ネジを回してキックパネルの位置を固定します。

10. 電源コードとアース線の接続

電源プラグを食器洗い機専用のコンセントに挿入し、アース線を同コンセントのアースターミナルに接続してください。

電源を入れると本体のディスプレイにPFが表示されます。スタートボタンを押すと表示は消えます。

11. 試運転

全ての手順が完了し、間違いがないことを確認したら試運転を行ってください。また、下記項目は必ず確認してください。

- 1) 給湯および排水が正しく行われるか
給湯温度設定(49°C~60°C)
- 2) 運転が正常に終了するか
- 3) 振動、異音等が無いか
- 4) 水漏れが発生していないか
- 5) 電源がOFFのときに庫内給湯口からお湯が出てこないか

ディスプレイ表示

PF: 電源プラグをコンセントに差し込んだ際に表示されます。

スタートボタンを押すと消えます。

LO: リンスエイド(すすぎ仕上げ液)の補充をお知らせする表示です。すすぎ仕上げ液入れに補充すると表示は消えます。スタートボタン横の Rinse Aid 表示が点灯している場合も同様です。

PUB.NO.15E1801